

製品名: LPAAT-ε ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13383**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	AGPAT5
別名	AGPAT5; 1-acyl-sn-glycerol-3-phosphate acyltransferase epsilon; 1-acylglycerol-3-phosphate O-acyltransferase 5; 1-AGP acyltransferase 5; 1-AGPAT 5; Lysophosphatidic acid acyltransferase epsilon; LPAAT-epsilon
遺伝子 ID	55326.0
SwissProt ID	Q9NUQ2
免疫原	抗血清はヒト AGPAT5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

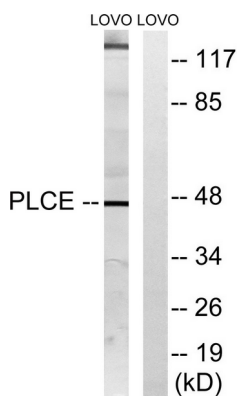
背景

この遺伝子は、1-アシルグリセロール-3-リン酸 O-アシルトランスフェラーゼファミリーのメンバーをコードしています。この膜貫通タンパク質は、リゾホスファチジン酸をホスファチジン酸に変換し、リン脂質の de novo 生合成における第二段階を担います。この遺伝子の偽遺伝子は Y 染色体上にあります。[RefSeq 提供、2014 年 8 月]、触媒活性: アシル CoA + 1-アシル-sn-グリセロール 3-リン酸 = CoA + 1,2-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸。、注意: Met-1 または Met-12 のどちらが開始因子であるかは不明です。、ドメイン: HXXXXD モチーフは、アシルトランスフェラーゼ活性に必須であり、グリセロール-3-リン酸のリン酸部分の結合部位を構成する可能性があります。、機能: グリセロール骨格の sn-2 位にアシル部分を組み込むことにより、リゾホスファチジン酸 (LPA) をホスファチジン酸に変換します。、経路: リン脂質代謝; CDP-ジアシルグリセロール生合成; sn-グリセロール 3-リン酸からの CDP-ジアシルグリセロール: ステップ 2/3。、類似性: 1-アシル-sn-グリセロール-3-リン酸アシルトランスフェラーゼ ファミリーに属します。、

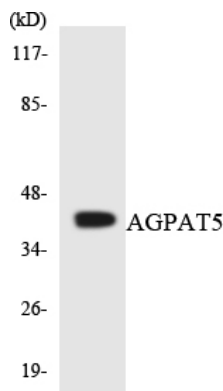
研究分野

幹細胞経路

画像データ



AGPAT5 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AGPAT5 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。